URS500／600
シリーズ溶剤リサイクラー標準操

1）溶剤受けペールの配置

溶剤受けペールを、溶剤出液管（弯曲型）がペールの開口部に十分に挿入されるように配置する。当該ペールは 5 米ガロン（20 リットル）規格で、且つ溶剤を収容することが認可されたものでなければならない。ペールが金属製の場合は、接地線のワニ口クランプをペールの縁

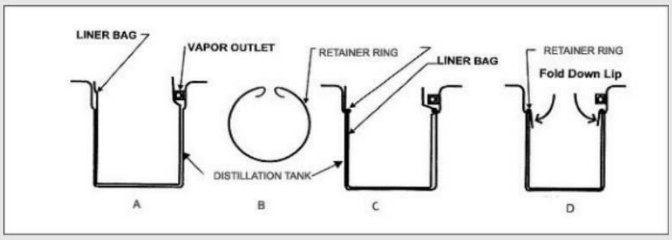
受液ペール

2）新しいライナーバッグの取り付け

a）品番 LB900C-10 のライナーバッグを、以下の図（A）に示すように、バッグの底部が蒸留槽の底部に平らに接するように取り付ける。

注意（Caution）：

ライナーバッグの素材が、1）蒸気出口ポートを閉塞したり、



新しいライナーバッグの取り付け

3）蒸留槽に使用済み溶剤を、固定リングから 2 インチ下まで注入する。過剰注入は、凝縮器流路の閉塞及び蓋ガスケット下部からの漏れを引き起こす可能性がある。蓋及びカバーを閉める。温度設定値を変更する場合は、溶剤リサイクラーの

4）リサイクル開始（4) Start Recycling）

「START（開始）」ボタンを押す。蒸留が開始され、「HEAT（加熱）」及び「FAN（ファン）」ランプが点灯する。

加熱ランプは点滅する。

リサイクルを停止したい場合は「STOP（停止）」ボタンを押す。溶剤が存在する環境では、

キーパッド

5）リサイクル過程（5) Recycling）

「HEAT（加熱）」及び「FAN（ファン）」ランプが消灯したら、

リサイクルが完了する。

6）清浄溶剤の移送

a）清浄なリサイクル溶剤が入った受けペールを取り外し、

清潔で空のペールを設置する。

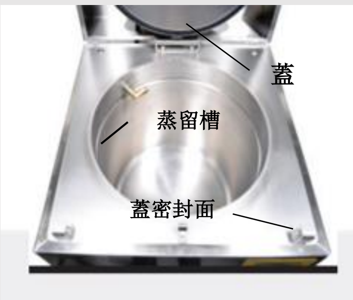
b）溶剤移送システムを搭載した機種の場合：移送タイマーノブを

7）残渣の除去（7) Remove Debris）

a）手袋及び保護メガネを着用し、固定リングを取り外す。

b）残渣の入ったライナーバッグが破れないように、ゆっくりと蒸留槽から取り出す。地域の規制に別段の定めがない限り、残渣は有害廃棄物として処分する。蒸留槽に古い廃棄物を残し、後から新しい溶剤を補充してリサイクルしない。

8）蒸留槽の清掃



蒸留槽内の残存残渣をすべて除去する。必要に応じて、新鮮な溶剤又はエチレングリコール（不凍液）を添加し、プラスチック製又は木製の工具で清掃する。布で槽を拭き取り、乾燥させる。槽を損傷する可能性のある研磨剤又は金属製工具で清掃しない。

槽内に汚れや残渣が残留すると、リサイクル中に溶剤への十分な熱伝達が妨げられる。

9）蓋シール面の清掃

布を使用する。1）蓋及び蓋ガスケット、2）蓋ガスケットが配置される槽上部の蓋シール面を清掃し、乾燥させる。右側の

URS500／600 シリーズ溶剤リサイクラー標準メンテナンス及び安全手順

使用前

- 蓋ガスケットに切れ目や硬化した部分がないか点検する。リサイクルの度に、蓋ガスケット下部からの溶剤漏れを確認する。損傷した蓋ガスケットはシール性不良及び蒸気漏れを引き起こし、危険且つ無駄が生じる。損傷した蓋ガスケット（品番：770-2150N）は、以下のメンテナンス手順に従って交換する。ガスケットは少なくとも 6 ヶ月に 1 回交換する。
- 蓋を閉める前に、槽の上面が清潔で、塗料や汚染された溶剤が付着していないことを確認する。槽自体も清潔で、損傷がないことを確認する。

3 ヶ月ごと

点検

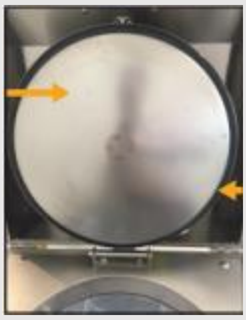
- 溶剤リサイクラーが防爆プラグ及びコンセント（又は防爆固定式接続）を使用して建物の電源に接続されていることを確認する。防爆接続は安全な運転に必須であり、UL 2208 及び CSA 22.2 の製品認証を維持するためにも必須である。防爆コンセントは本ページ下部に図示されている。

メンテナンス手順

蓋ガスケットの交換

1. 安全カバー及び槽蓋を開ける。

槽蓋

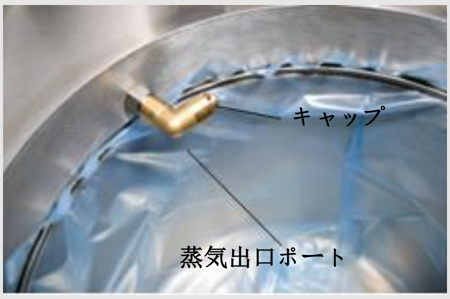


蓋ガスケット

2. マイナスドライバーを使用して損傷した蓋ガスケットを取り外す。
3. 蓋ガスケットが配置されていた蓋の縁を、スカフ／研磨材（不織布製）で清掃し、新しい蓋ガスケットを取り付ける前に汚れを完全に除去する。ガスケットを石鹸水で湿らせた後、指で蓋ガスケットの一部を溝に押し込む。リングの周りに徐々に作業を進める。リングは変形がなく平らであることが重要。これは、リングの水平シームが全長にわたって直線であるかどうかで確認できる。新しい蓋ガスケットを取り付ける際には、ガスケットを損傷する可能性があるため、工具や鋭利な物を使用しない。
4. 蓋ガスケットの正常な機能を確認するため、10 リットルの清潔な水をリサイクルする。

蒸気出口ポートの清掃

1. 小型マイナスドライバーを使用して蒸気出口ポートのキャップを取り外し、金属ピンで清掃する。必要に応じて、小型ドリルを使用するか、清掃前にキャップをシンナーに浸けておく。キャップのすべての開口部に残渣がなく閉塞を防止することが重要。



2. 真鍮製の蒸気出口ポートを、手又はウォータープライヤーを使用して槽壁のナットから取り外し、清掃する。槽壁のステンレス鋼製ナットは取り外さない。
3. 蒸気出口ポートに布をかける。ブローガンを使用し、ドア内部の受けペール上部に配置された溶剤出液管にエアを吹き込む。凝縮器内に残留物がある場合は、蒸気出口ポートから槽内に排出される。
4. キャップ及び蒸気出口ポートを再取り付ける。蒸気出口ポート及び凝縮器をフラッシュするため、5 ガロンの清潔な溶剤をリサイクルする。

凝縮器の清掃

1. ブラシアタッチメントを装着した掃除機を使用し、吸気グリル及び排気グリルを清掃する。この清掃により凝縮器フィンからほこりが除去 可能になる。

防爆コンセント

本機器は溶剤を使用するため、防爆接続は安全な運転に必須であり、UL 2208 及び CSA 22.2 の製品認証を維持するためにも必須である。